情報提供資料

ギリシャ情勢について

７月５日（日）のギリシャ国民投票で、財政緊縮策が否決される結果となりましたので、お知らせします。

ギリシャ情勢について

７月５日に実施されたギリシャの国民投票は、既に各種報道がありました通り、開票の結果、国民の緊縮策受入れ反対が確実な情勢となりました。チプラス首相は、勝利を宣言し、同時に、「ギリシャは明日から交渉のテーブルに戻る」と述べ、債権団との支援協議の再開を急ぐ考えを示しました。

この投票結果を受け、ギリシャ情勢をめぐる不透明感は強まりました。既に、ギリシャは銀行からの預金引出し制限や証券取引所の休場を含む資本規制を実施するなど国内経済は打撃を受けつつあります。国民投票で賛成が多数であったとしても今後の交渉への障害が大きいと見られていたため、ギリシャと債権団側とが、支援プログラム合意に早期妥結できるかどうか、かなり情勢は厳しくなったと考えられます。

ギリシャはIMFに対する債務につき６月は期限内の返済を行わず、現在、ECB（欧州中央銀行）のギリシャ銀行向けの緊急流動性支援（ELA)が実施されている状態です。このため、当面は、金融市場の流動性を確保するための追加的な公的支援と既存債務の再編が大きな課題となります。

メルケル独首相とオランド仏大統領はギリシャ問題を協議するため、７日のユーロ圏首脳会議を招集しました。欧州連合（EU）側は、ギリシャへの包括的な金融支援が依然可能かどうか、難しい判断を迫られています。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会

情報提供資料

ギリシャ情勢について

今後の見通しについて

ギリシャ国内では、国民投票の結果を受けても、ユーロ圏に残留する期待が高く、また、一般的に、市場ではギリシャが交渉のテーブルにつく限りは、緊縮策の受入れ賛否と、ユーロ圏離脱は別問題と捉えられています。

万一交渉が決裂し、ECBの支援が尽きれば、ギリシャでは資本規制が長期化し、政府紙幣や旧通貨ドラクマの発行などを導入して、さらにはIMF（国際通貨化基金）の厳しい監督の下、経済を再生させていくことになります。 ギリシャ経済は大きく悪化することにもなり、ギリシャ政府や国民の理解と良識が求められるところです。

スケジュールとしては、7月20日に、ECB保有のギリシャ国債が償還期限を迎える予定となっています。この支払いができない場合、ELAの停止を含めて、ECBによるギリシャへの追加支援が事実上不可能になり、ギリシャのユーロ離脱の可能性は大幅に高まるものと見られています。今後、ギリシャのユーロ残留への道がしっかりと開かれるのかどうかが大きな焦点となりそうです。

６日朝の東京外国為替市場は、急変動した後は比較的落着いた動きとなっています。投票結果を受け、市場は、一旦、円高/株安のリスクオフに動く可能性はありますが、観光業が中心のギリシャ経済が欧州経済や世界経済に与える影響は限定的です。

また、ギリシャの債務はほとんどがECBやIMFなどの公的機関に保有されているため、民間経済への影響は軽微であり、大きな金融危機が起きる可能性は現時点では少ないと見られます。

大局的な見地に立てば、欧州経済全体は概ね拡大軌道を維持しており、今後、交渉の中で金融支援を含むEU、ECB、IMF等、ステークホルダーとの合意に向けた道筋が見えて来るようになれば、世界の株式市場も再び上昇に転じるものと期待されます。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）2636号
加入協会 ： 一般社団法人投資信託協会

情報提供資料

ギリシャ情勢について

免責事項

本資料は、カレラアセットマネジメント株式会社により作成された情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。また、本資料に記載されている内容は、現時点または過去の事項あるいは実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本資料に記載されている意見、運用方針等は、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、今後の見通し、運用方針等が変更される場合があります。

当資料はカレラアセットマネジメント株式会社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

カレラアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）2636号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会